



## 平成 30 年度以降の教育内容について

平成 29 年 9 月

大手前高校の設置学科は、「文理学科」のみとなります。（平成 30 年度入学生より）

「文理学科」では、これまでの、理数科、文理学科の教育内容を継承しつつ、新しい大学入試制度にも対応した教育を提供し、一人ひとりの進路希望の実現をめざします。

### 特色 1

**「文理学科」では、平成 33 年度大学入試（大学入学共通テストや大学個別試験（一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜））に対応できる教育を行います。（※）**

- ◆ 課題研究科目（「信念（まこと）」「理想（のぞみ）」を全員履修とします。

「信念(まこと)」	「理想(のぞみ)」
国語・英語・情報の教科横断科目	数学
課題研究を行いながら、言語力・表現力・プレゼンテーション力を磨く	課題研究を行いながら、統計的手法・論理的思考力・分析検証法を学ぶ

- ◆ TOEFL 教材などを活用し、英語 4 技能統合型授業を実施します。

英語資格・検定試験による成果検証	
GTEC	全員受験
英検・TOEFL等	希望者に対して機会の提供・案内

### 特色 2

**「文理学科」では、「スーパーサイエンスコース（仮称）」を設定します。**

- ◆ 「スーパーサイエンスコース」は、「信念（まこと）」「理想（のぞみ）」の履修後に、「サイエンス探究」により、さらに研究活動を究めます。

学年 学期	1年前期	1年後期		2年前期		2年後期	3年前期	3年後期
学科 コース	文理学科 (共通履修)	文理学科 (共通履修)	クラス 替え	文理学科 (スーパーサイエンスコース) (120名程度)	クラス 替え	文理学科(文理別クラス) (スーパーサイエンスコース(文理別クラス) (120~160名程度を想定))		
課題 研究	-	信念(まこと)		理想(のぞみ)		サイエンス探究(スーパーサイエンスコースのみ)		-

平成 29 年 9 月現在の実施計画です。名称、内容等について、一部変更する場合があります。

## 皆さんの質問にお答えします！！

- 「スーパーサイエンスコース」は、文系に進むことはできないのでしょうか？  
➡ 「サイエンス」＝理系ではありません。「サイエンス」には人文科学、社会科学、自然科学の3つの領域がありますので、文系・理系のそれぞれの進路希望を実現することができます。
- 「スーパーサイエンスコース」を含めて「文理学科」は、文系・理系は、いつ（どの時期）から分かれるのでしょうか？  
➡ 2年後期より、文系選択・理系選択によるクラス編成をします。
- 「スーパーサイエンスコース」に希望すれば全員入れるのでしょうか、また選抜されるのであれば選抜基準を教えてください。  
➡ 2年前期からスタートする「スーパーサイエンスコース」は定員を120名程度としています。希望者が定員を超える場合は、成績（定期考査、外部模擬試験）等により、選抜します。
- 2年前期に「スーパーサイエンスコース」に入ることができなかった人でも、2年後期から入ることはできますか？  
➡ 「スーパーサイエンスコース」への変更希望を認めています。40名程度を想定しています。希望する生徒が想定数を超える場合は、成績（定期考査、外部模擬試験等）により、選抜します。
- 「スーパーサイエンスコース」に進みたいのですが、大学受験を考えると、3年前期まで課題研究をすることに不安があります。  
➡ これまでから、大手前高校（理数科、文理学科）では、3年前期まで課題研究に取り組んできました。この経験から見ると、研究に対する意欲・関心の高い生徒は、課題研究の取組みが、総合的な学力の向上につながっています。また、大学入試でも課題研究活動やその成果を評価する傾向にあります。大学に進み、社会に出ること、「答えのない課題」を仲間と一緒に研究し、解決しようとする場面が必ずでてきます。各自の個性の違いもありますが、大手前高校の先生方、そして仲間と一緒に積極的に課題研究に取り組んでほしいと思っています。

※ 「高大接続改革の実施方針等の策定について」（文部科学省 平成29年7月13日発表）

### 「大学入学共通テスト実施方針」より一部抜粋・編集

- ・知識・技能を十分有しているかどうかの評価も行いつつ、思考力・判断力・表現力を中心に評価を行う
- ・『国語』『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学ⅡA』についてはマークシート式問題に加え、記述式問題を出題する
- ・英語4技能評価：共通テストの枠組みにおいて、現に民間事業者等により広く実施され、一点の評価が定着している資格・検定試験を活用する。共通テストの英語試験については、平成35年度まで実施、各大学の判断で共通テストと認定試験のいずれか、又は双方を選択利用することを可能とする。

### 「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」より一部抜粋・編集

- ・入試区分：「一般入試」⇒「一般選抜」、「AO入試」⇒総合型選抜、「推薦入試」⇒「学校推薦型選抜」
- ・すべての選抜：筆記試験に加え、（中略）、調査書、志願者本人が記載する資料など（エッセイ、面接、ディベート、集団討論、プレゼンテーション、各種大会や懸賞等の記録、総合的な学習の時間などにおける生徒の探究的学習の成果等に関する資料や面接など）の積極的活用を促す。論理的な思考力・判断力・表現力等を適切に評価する。英語の試験を課す場合は、4技能の総合的に評価するよう努める。